

コープみえ絵本で平和のバトンパス

～絵本でつなぐ、想いをつなぐ、未来につなぐ～

★絵本 貸し出します★ ※詳細は最終ページをご覧ください。

2024.10



<p>秋 作:かこ さとし</p> <p>かこさんが終生、憎んでいた「戦争」。太平洋戦争のとき、高校生だったかこさんの体験談。平和を願う強い思いが込められています。</p> <p>講談社</p>	<p>あなたこそ たからもの 作:いとうまこと 絵:たるいしまこ</p> <p>憲法の大切な精神をわかりやすく語りかけます。憲法ってぼくたちのためにあるの? 「個人の尊重」って何? 親子で読みたい憲法の入門書。</p> <p>大月書店</p>
<p>子どもにつたえる日本国憲法 作:井上 ひさし 絵:いわさきちひろ</p> <p>「憲法ってなあに?」憲法のこころをいわさきちひろの絵とともに、子どもにもわかりやすい言葉で伝えます。</p> <p>講談社</p>	<p>いのりの石 文:こやま 峰子 絵:塚本やすし</p> <p>広島電鉄の敷石が、原爆体験を通し、ひろしま祈りの石として平和希求のシンボルになるまでを描きます。</p> <p>フレーベル館</p>
<p>いわたくんちのおばあちゃん 作:天野 夏美 絵:はまの ゆか</p> <p>おばあちゃんはなぜ家族写真を撮るのを嫌がるのか…それは悲しい思い出がよみがえるから…平和と家族の尊さを描く実話。</p> <p>主婦の友社</p>	<p>えんぴつびな 作:長崎源之助 絵:長谷川知子</p> <p>少女の宝物は、友達が作ってくれた鉛筆のおひな様。昨日まで遊んでいた友達は空襲に巻き込まれ…何ともせつない絵本。</p> <p>金の星社</p>
<p>おかあさんのいのり 作:武鹿 悦子 絵:江頭 路子</p> <p>その手がどうか銃などにぎりませんように…。子どもへの愛情とあたりまえの平和な日常を願う母の祈りを描きます。</p> <p>岩崎書店</p>	<p>おとなになれなかった弟たちに… 作・絵:米倉 齊加年</p> <p>10才の少年は、まだ赤ちゃんの弟のミルクを飲んでしまいます。戦争中の過酷な時代を物語ります。</p> <p>偕成社</p>
<p>おなじ月をみて 作:ジミー・リャオ 訳:天野 健太郎</p> <p>少年のハンハン、窓の外を見てずっと誰かをまっています…ハンハンがまちわびているのは…同じ月の下でおきていることを心に刻む絵本。</p> <p>ブロンズ新社</p>	<p>おひさまとおつきさまのけんか 作・絵:せなけいこ</p> <p>ある日、おひさまとおつきさまがけんかします。きっかけは、ささいなことだったのにエスカレートします。争いについて考える一冊。</p> <p>ポプラ社</p>
<p>おりづるの旅 作:うみの しほ 絵:狩野 富貴子</p> <p>原爆症で亡くなった少女の禊子さん、少女が折り続けた鶴は平和な世界を祈る象徴となり、各地で折られるように…</p> <p>PHP 研究所</p>	<p>かわいそうなぞう 作:つちやゆきお 絵:たけべもといちろう</p> <p>戦時中、上野動物園で3頭のゾウが殺されました。本当にあった悲しい話をもとにした絵本。</p> <p>金の星社</p>



BL出版

きょうというひ

作・絵: 荒井 良二

大切なものが消えてしまわないように灯をともします…
そっと… 祈りを込めて…
新しい“きょう”に感謝し、祈ります…



13



童心社

くつがいく

作: 和歌山 静子

兵隊たちに履かれて戦場に行った靴の運命を描きながら、戦争の本当のすがたと平和の大切さを伝えます。

14



新日本出版社

原爆の火

作: 岩崎 京子 絵: 毛利 まさみち

1 人の兵士が原爆の残り火をふるさとに持ち帰り、激しい怒りと憎しみの思いで、絶やすことなく灯し続けます…。

15



かもがわ出版

けんぼう絵本 おりとライオン

作: 椋 大樹 絵: 今井 ヨージ

子どもたちにも自分には人権があつて、それをないがしろにされないように、憲法が守ってくれていることがわかります。

16



集英社

ここが家だ

ベン・シャーンの第五福竜丸

作: アーサー・ビナード
絵: ベン・シャーン

1954年3月、ビキニ環礁でアメリカによる水爆実験の犠牲となった第五福竜丸乗組員の話。

17



岩崎書店

この本をかくして

作: マーガレット・ワイルド
絵: フレヤ・ブラックウッド
訳: アーサー・ビナード

本当に大切なものは何者にも負けない…。戦争によって失われる大切なものについて描いた一冊。

18



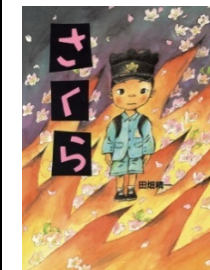
童心社

さがしています

作: アーサー・ビナード
写真: 岡倉 禎志

ピカドンを体験した遺留品たちがさがしています—原爆の恐ろしさを語る写真絵本。

19



童心社

さくら

作: 田畑 精一

桜咲く春に生まれた少年。そして戦争が始まり、少年も“桜の花のように散れ”と教えられます…。大人になった少年に、桜の老木が語りかける、桜と少年の物語。

20



小学館

字のないはがき

作: 角田 光代 絵: 西加奈子
原作: 向田 邦子

戦争中の、向田さん一家のちいさな妹と、いつも怖いお父さんのエピソードを綴った感動の実話。子どもと語り合ってほしい作品。

21



童心社

伸ちゃんのだんご

作: 児玉 辰春 絵: おぼ まこと

三輪車とともに原爆にあい少年のささやかな日常の幸せが一瞬のうちに奪われました。原爆の残酷さを物語る。三輪車は広島平和記念資料館に保管されています。

22



光村教育図書

せかいでいちばんつよい国

作: デビッド・マッキー
訳: なかがわ ちひろ

世界中の人びとを幸せするために世界中を征服した、ある大きな国の大統領の話をもユーモアに描きます。

23



ポプラ社

世界で最後の花 絵のついた寓話

作: ジェームズ・サーバー
訳: 村上 春樹

世界では今なお、この絵本通りのことが起きています。なぜ戦争がなくなるのか…今こそ読むべき作品。

24





戦火のなかの子どもたち ②5

作:岩崎 ちひろ

ベトナム戦争に巻き込まれた子どもたちの苦しさを描きます。生命の大切さを伝える岩崎ちひろさん最後の絵本。

岩崎書店



戦争が町にやってくる ②6

作:ロマナ・ロマニーシン アンドリー・レシヴ
訳:金原瑞人

ウクライナの作家による絵本。戦争に勝つことはできました…でも戦争で失ったものが完全に戻ることはなく、体や心に傷を残します。

ブロンズ新社



せんそうがやってきた日 ②7

作:ニコラ・デイビス
絵:レベッカ・コップ
訳:長友 恵子

平和な暮らしが突然壊される、一人ぼっちになった少女の悲しみと恐ろしさが痛いほど伝わってきます。

すずき出版



せんそうしない ②8

作:たにかわしゅんたろう
絵:えがしら みちこ

谷川俊太郎のシンプルな言葉で語られる戦争への思い、江頭路子の描く子どもたち。“せんそうしない”の言葉が心にさざります。

講談社



せんそうをはしりぬけた『かば』でんしゃ ②9

作・絵:間瀬 なおかた

かば電車と皆に親しまれて、多くの乗客を運んでいました。戦争になり、兵隊や兵器を運ぶように…そして爆撃を受けました。今も鉄道博物館に実在します。

ひさかたチャイルド



戦争をやめた人たち ③0

文・絵:鈴木 まもる

1914年7月。第一次世界大戦。フランスやベルギーにせめこむドイツ軍と、迎えうつイギリス軍との最前線で実際に起きた話。

あすなる書房



そらいる男爵 ③1

文:ジル・ボム
絵:ティエリー・デデュ
訳:中島 さおり

そらいる男爵は爆弾のかわりに打撃力のある重い本を投下し、敵を倒します。男爵はあるものを投下し戦争を終わらせました。

主婦の友社



だっこの木 ③2

作:宮川 ひろ 絵:渡辺 洋二

いちょうの木とカズヤ…いちょうは東京大空襲で傷を負い、その後カズヤと再開することに。戦争の悲惨さを考えさせられる絵本。

文溪堂

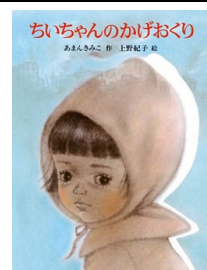


だれのこどももこらさせない ③3

文:西郷 南海子 絵:浜田 桂子

「きょうのよる、せんそうにならない？」とのわが子の言葉から生まれた絵本。戦争の不安におびえる子に読んで安心させたいという母親の願いを伝えます。

かがわ出版



ちいちゃんのかげおくり ③4

作:あまん きみこ 絵:上野 紀子

ちいちゃんとおにいちゃん、おかあさん、おとうさんは「かげおくり」をします。翌日、おとうさんは戦争へ。その年の夏、ちいちゃんは空襲に…

あかね書房



チロヌツのきつね ③5

文・絵:たかはし ひろゆき

平和にくらしていたきつねの親子が、人間が始めた戦争にまきこまれます…今こそ“戦争と平和”について考えたい一冊。

金の星社



トビウオのぼうやはびょうきです ③6

作:いぬいとみこ 絵:津田 櫓冬

サンゴ礁の美しい平和な海を、おそった恐ろしい光。被害者は人間だけではないのです。第五福竜丸の悲劇を描いた絵本。

金の星社





童心社

なきむしせいとく ③7

作・絵:たじまゆきひこ

沖縄戦にまきこれた少年せいとく、壮絶な爆撃からの逃避行。多くの子ども、女性、老人が犠牲となった沖縄戦のむごさを物語ります。



BL出版

なぜあらしうの? ③8

作・絵:ニコライ・ポポフ

争いがエスカレートしていく様子を描いた文字のない絵本。なぜ争いは起こるのか?なぜ争いはやまないのか…最後に何が残るのか…私たちにできることは…心に強く問いかけます。



河出書房新社

8月6日のこと ③9

作:中川 ひろたか
絵:長谷川 義史

広島原爆で亡くなった作者の伯父、被爆者となった作者の母の体験を伝え、こどもたちへ問いかける。



童心社

はらっば ④0

作:神戸 光男
絵:西村 繁男

戦争によって、子どもたちの遊び場だった「はらっば」…時間の流れとともに子どもたちの遊びや街並み、生活の移り変わりを描きます。



童心社

ピース・ブック ④1

作・絵:トッド・パール
訳:堀尾 輝久

「へいわって あたらしい ともだちをつくること…」今の生活がとても幸せであることが、わかりやすく伝わってきます。



汐文社

光にむかって ④2

編:くさばよしみ 絵:やまなかもこ

13歳で被爆し、核兵器をなくすための運動を続けてきたサーロー節子さん。ノーベル賞授賞式でのスピーチが絵本に。



文研出版

ヒロシマのいのちの水 ④3

作:指田 和 絵:野村 たかあき

被爆して水を求める人に、「すぐ持ってきてあげる」と約束した宇根さん。それなのに、約束を守ることではできませんでした…



文研出版

ヒロシマのピアノ ④4

作:指田 和子
絵:坪谷 令子

原爆の被害にあったピアノ。再び平和の音色を奏でるまでの生涯を被爆ピアノが語ります。



評論社

プーさんと であった日 ④5

作:リンジー・マティック
絵:ソフィー・ブラッコール
訳:山口 文生

『くまのプーさん』のモデルになったウィニー・ザ・プーの話。すてきなドラマがあったのです…心温まる一冊。



ブロンズ新社

へいわって すてきだね ④6

作:安里有生 絵:長谷川 義史

“へいわ”ってなにか。ぼくは、かんがえたよ。ずっとへいわが続きますように…。小学1年生が伝える“へいわ”。



童心社

へいわってどんなこと? ④7

作:浜田 桂子

へいわってなにか?あたりまえの生活ができること…戦争しないこと…それから…いろいろな視点から平和を考えます。



ブロンズ新社

へいわとせんそう ④8

作:たにかわしゅんたろう
絵:Noritake

「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。平和と戦争のちがいは…。いま、子どもにも大人にも伝えたいメッセージ。



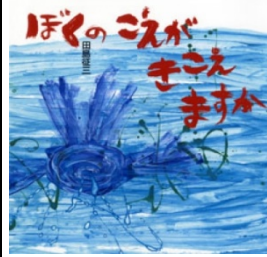


ぼくがラーメンを食べるとき ④9

作・絵：長谷川 義史

ぼくがラーメンを食べるとき、みんなは何してる？遊んでる、働いてる、倒れてる…なにげない平和な時間の尊さをかみしめる絵本。

教育画劇

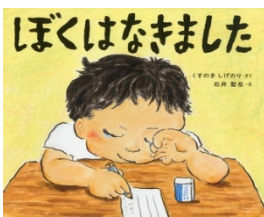


ぼくのこえがきこえますか ⑤0

作：田島征三

砲弾により「ぼく」の体はとびちり、なくなりました。誰のために、何のために死ぬのか…戦争の悲劇が痛いほど伝わってきます。

童心社



ぼくはなきました ⑤1

作：くすのき しげのり
絵：石井 聖岳

「自分のいいところ」を発表することになった、ぼく。思い浮かぶのは友だちのいいところばかり。でもいいところはたくさんあるはず…。

東洋館出版社



またあしたあそぼうね ⑤2

文：山下ますみ 絵：ささき みお

友達とあそんだあと、いつものように、またあしたと約束した夜、爆弾がおちました。町も、そこにいた人も動物も、みんな炎に…

新日本出版社



まちんと ⑤3

作：松谷 みよ子 絵：司 修

原爆できずついた3歳ほどの小さな女の子は、トマトをねだってこの世を去りました。十分に食べ物をあげられない母の悲しさ、戦争の悲惨さを物語ります。

偕成社



向こう岸には ⑤4

作：マルタ・カラスコ
訳：宇野 和美

夢は、いつか川に橋をかけること…。なぜなら川の向こうの人たちと仲良くなりたいから…偏見を持つ大人たちに読んで欲しい一冊。

ほるぷ出版



焼けあとのちかい ⑤5

文：半藤 一利 絵：塚本 やすし

小学5年生の時に戦争が始まり、中学2年生の時に東京大空襲で猛火に襲われる…焼け跡で誓ったこととは…。

大月書店



もしものせかい ⑤6

著：ヨシタケシンスケ

『いつものせかい』って何だろう？『もしものせかい』って何だろう？大人が読んでも楽しめる哲学を含んだ絵本。

赤ちゃんとママ社



もっとおおきなたいほうを ⑤7

作：二見 正直

王様は川で魚をとっていた狐を大砲で追い払ったあと、狐はもっと大きな大砲をもってきました。王様と狐の大砲くらべの結末は…。

福音館書店



わすれないで ⑤8

—第五福竜丸ものがたり—

文・絵：赤坂 三好

1954年3月、ビキニ環礁で、第五福竜丸をはじめ、多くの漁船が世界で初めての水爆実験にまきこまれました。

金の星社



わたしのいもうと ⑤9

作：松谷 みよ子
絵：味戸 ケイコ

差別は、弱いものや同じでないものを比較して、人間の尊厳や人権を侵害する…差別こそ戦争につながると訴えかけます。

偕成社



わたしの「やめて」 ⑥0

文：自由と平和のための京大有志の会
絵：塚本 やすし

戦争に対するシンプルな心の叫び「やめて」！「戦争とは何か、平和とは何か…」を考える一冊。

朝日新聞出版



★絵本貸出について★



- * 一度に3冊まで無料で貸し出します。
- * コープ宅配の配達時に商品と一緒にお届けします。
- * 返却は、絵本がお手元に届いてから2週間程度を目途にお願いします。



絵本を読まれての感想が寄せられています。
こちらをご覧ください。

お問い合わせ・貸し出し申込み先

コープみえ 組織活動推進課

TEL : 059-271-8503

Mail : soshiki@coop-mie.jp

貸し出しの申込みはこちらから →

